

## 兵庫県多可西脇地方の昆虫 2. (蛾類 I)<sup>※</sup>

[マドガ科・メイガ科]

岡本 清・猪股 涼一

兵庫県多可西脇地方の昆虫相調査を続けている筆者らは、さきに第1報として蝶類を報告したが、このたび、メイガ科が200種を越えて第1次目標種類数に達したので、これにマドガ科を加え、第2報として報告する。

なお、第1報では調査を始めた動機に触れただけであったので、この機会に筆者らの調査とまとめの方針を簡単に述べておく。

- ①過去の集積を基にして、分類体系にとらわれることなく、2～3のグループ(目、科、場合によっては亜科)を選んで年次目標グループとする。
- ②その年は、そのグループに重点をおいて採集(飼育)する。
- ③「兵庫県水上郡昆虫目録」を基礎にし、図鑑類を参考にして目標種類数を決め、これに達したグループから、逐次まとめて発表する。

④発表後に得た知見は折を見て追報する。

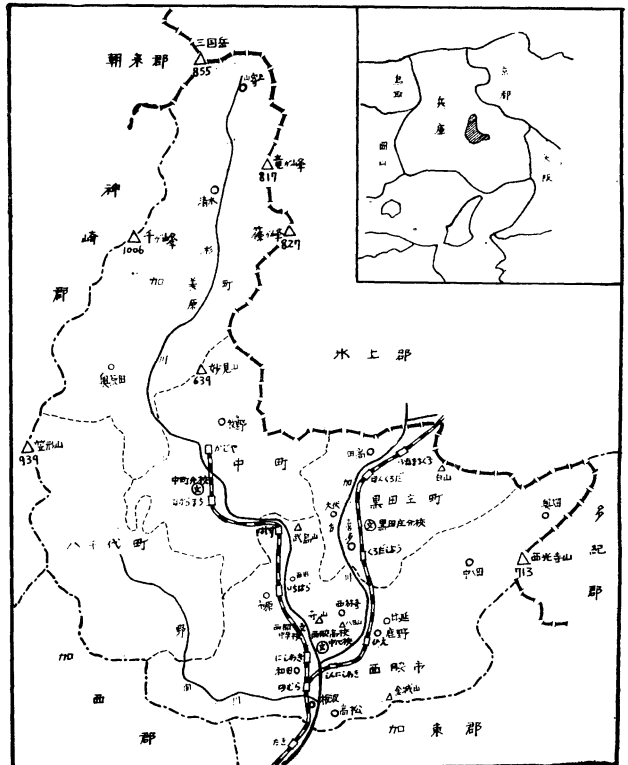
本稿を発表するに当たり、同定の労をお煩わせした大阪府立大学六浦晃博士、常々御指導を仰いでいる沢田敏郎先生、文献その他で御教示を戴いた山本義丸・岡村はた・東正雄の各氏に厚く御礼申し上げる。また、夜間採集に便宜を計らって戴いた双葉小学校来住久満雄・加美町足立哲夫の両氏、及び採集に協力された西脇高校職員各位、同定時制自然同好会・同全日制生物部の諸君に対しても深甚の謝意を表する。

### I. 採集地と採集回数

次表の示す通り、西脇高校中心校及び同黒田庄分校における調査はほぼ行き届いているのであるが、他では甚だ不完全である。今後はこれらの地区に力を注ぎたい。なお、この表にあげた回数には、メイガ上科が採集されなかった回は含まない。

区分	採集地	夜間採集	昼間採集
各地	西脇高校中心校	2年間殆ど連夜	
	〃 黒田庄分校	3年間殆ど連夜	
	〃 中町分校		1回
	西脇市鹿野	3回	3回
	〃 市原		約5回
	〃 西田		約10回
	黒田庄町喜多		約10回
山地	西脇市中畑	2回	3回
	〃 住吉		5回
	黒田庄町白山		4回
	中町妙見山		2回
山地	八千代町筭形山	1回	約10回
	加美町千ヶ峰	1回	約5回
	〃 三国岳	3回	約10回

兵庫県多可郡西脇地方



## II. メイガ相の概観と考察

このような小地域でまとめた例が全国的に少ないためはっきりした比較対照はできかねるが、当地方は、メイガ相全体としては、それほど貧弱ではないように思われる。

当地方は、地理的には本州西南部に位するので、暖地性の種が相当に入り込んでいる一方、700~1,000m級の山が割合多いため、寒地（高地）性の種も少なくない。また、全国的に珍種とされているものも若干種採集されているなど、かなり複雑なFaunaを呈している。

亜科別にみると、マダラメイガ亜科が貧弱なことは、広葉樹の少ない植物相を裏付けており、ツトガ亜科が予想外によく、特に山地で得られた種が多かったのは、この亜科全体がやや寒地性に傾いていること、及び豊富な禾本科を食草とするものが多いこと、などのためであろうと思われる。

### (1) 種類数

① ツツリガ亜科	3種
② ツトガ亜科	20
③ オオメイガ亜科	5
④ ホソメイガ亜科	4
⑤ マダラメイガ亜科	29
⑥ フトメイガ亜科	13
⑦ トガリメイガ亜科	7
⑧ シマメイガ亜科	19
⑨ ノメイガ亜科	109
合計	209種

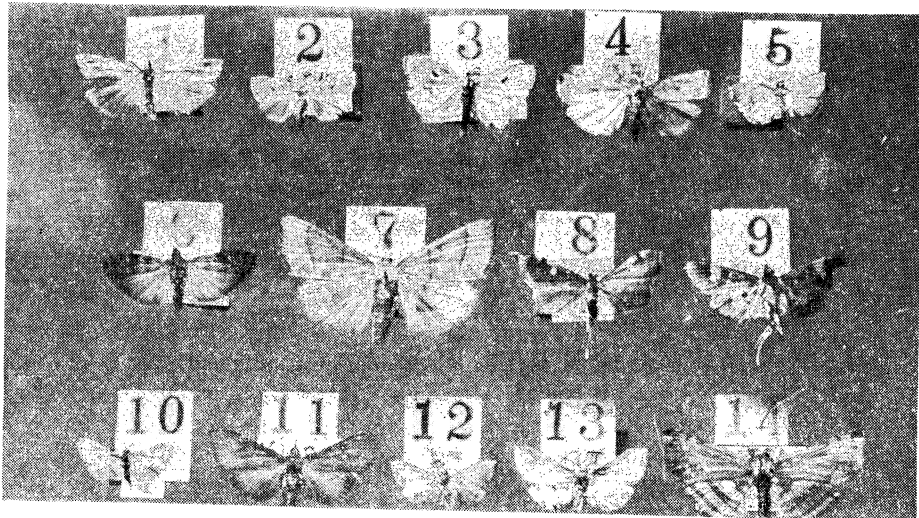
### (2) 兵庫県未記録種

兵庫県のメイガに関する文献は、筆者らの知る範囲では「水ノ山の蛾類について; Ⅱ, 21) Ⅲ, 20) 補遺<sup>18)</sup>」と「兵庫県氷上郡昆虫目録<sup>19)</sup>」の他には、ずっと古く、兵庫県産を含む蛾類の報文が1~2あるだけである。しかし、近年のメイガの分類の様相から考えると、古い文献は種名同定に疑義があると思われるので、筆者らは、前2者にあげていないものは、一応、兵庫県未記録として扱い目録の学名の前に◎をつけて示した。これらは60種ありその中には本州未記録種、近畿未記録種も若干含まれている。但し、著名な農林害虫の場合には、その面から取り上げられた記録があるに違いないとの見地から、未記録扱いしなかった。

### (3) 注目すべき種類

全国的に珍種・稀少種として扱われている種、及び分布上特筆に値する種が採集されているので写真で示す。詳しくは目録中に記しておいた。(但し、13, 14はマドガ科)

1. ギンスジツトガ
  2. キスジツトガ
  3. タイワンキボンツトガ
  4. フタオレツトガ
  5. クロスジキオオメイガ
  6. マツノマダラメイガ
  7. オオバシマメイガ
  8. モンキノメイガ
  9. ナカキノメイガ
  10. ネモンノメイガ
  11. ウスベニオオノメイガ
  12. ヘリアカキノメイガ
  13. スギタニマドガ
  14. モリヤママドガ
- この番号は写真の番号である。



〔奥村英世氏撮影〕

(4) 地区別による分布状態

①山地のみ	30種
②低山地・山地共通 (低山地のみも含む)	9
③各区分共通 (山地・平地共通も含む)	49
④平地・低山地共通	34
⑤平地のみ	87
合計	209種

今までの調査の粗密から考えると、将来、④から③へ⑤から④さらに③へ、と移る種がかなり出るものと思われる。それらについて①から②への移動も可能性が高い。しかし、②から③への移動は極めて少数であろうと考えられる。

元来、山地性・平地性という語は甚だあいまいなものであるが、上記のことから判断すると、①及び②の39種は、少なくとも当地方では山地性である、と云ってもいいのではあるまいか。

(5) 局地的分布種

西脇高校中心校と同黒田庄分校は、調査がほぼ行き届いているし、区分では共に平地に属しているの、両校の分布種数を比較してみると次のようになる。

西脇中心校	26 (11) 種
共 通	109
黒田庄分校	33 (20)
合 計	168 (31) 種

このように、共通でない種が59種あるが、これらのうち、採集個体の極めて少ないものは偶然性が強いとみてそれらを除外すると、西脇で採れ黒田庄未採集が11種、黒田庄で採れ西脇未採集が20種、計31種となる。これらは両校の灯火の届く範囲内における分布の差異をあらわしているものと思われる。従って、これらの31種は食草の分布か何かの関係で、極めて局限された産地が細かく散在しているものではないか、と考えられる。目録中に局地的分布とあるのはこの意味である。

(6) 出現期 (発生期)

数多く採集しているうちに、当地方におけるメイガの出現期は、必ずしも図鑑のそれとは一致しない、ということに気が付いた。このことは、あながち地域差とばかりは云えず、むしろ、今まで全国的に調査が不十分であったことを示しているのではなからうか。さらに既知出現期と非常に食い違い場合は、年1化とされてきたものが実は2化またはそれ以上であった、などということにもなる。出現期の広がった種は、わずかに月がまたがった程度のもも加えると、46種の多きにのぼる。これらは一応、新知見として目録中にとり上げておいた。

Ⅲ. マドガ科・メイガ科目録

(1) 同定について

種名の同定には、主として、保育社版「原色日本蛾類

図鑑上」<sup>1)</sup>及び北隆館版「原色昆虫大図鑑Ⅰ」<sup>2)</sup>を使用した。筆者らが、同定に自信のもてない種及び同定不可能の種については、大阪府立大学の六浦晃博士にお願いした。

(2) 採用した学名及び和名と配列について

種の配列及び学名は、図示種類数の多い2)に、和名は、全国的に(特に関西)よく普及している1)に拠るのを原則とした。

(3) 採用種類数について

本目録には、マドガ科は全7種を、メイガ科は全209種のうち、種名属名共に不詳の12種を除いた197種をとり上げた。なお、標本の大部分は西脇高校中心校に、一部は筆者らの手許に保管している。

(4) 凡 例

①地区の区分はⅠの表による。

②採集dataは、最も早い採集例と最もおそい採集例とを示す。

(例) 16/Ⅶ ('61) 中畑~8/Ⅸ ('60) 西脇。但し、特殊な種については、全個体(または一部)のdataを記した。また、西脇は西脇高校中心校、黒田庄は同黒田庄分校の略である。

③「……」とあるが、……である。というのは、前者は図鑑など参考文献の記述を指し、後者は当地方における実際の状態を指す。

(例) 「5月」とあるが、9月~10月にも採れている。

(例) 「少ない」とあるが、かなり多い。

④学名の前の◎は、兵庫県未記録の意。

⑤局地的分布はⅡの(5)参照。

Thyrididae マドガ科

1. *Thyris usitata* BUTLER マドガ  
各地に普通。昼行性で、灯火には来ない。  
18/Ⅳ ('59) 羽安~1/Ⅵ ('60) 西田
2. *Striglina scitaria* WALKER アカジマドガ  
平地で得られ、少なくない。  
30/Ⅳ ('59) 西脇~14/Ⅶ ('60) 黒田庄
3. *Rhodoneura vitulla* GUENEE マダラマドガ  
平地で得られるが余り多くない。  
27/Ⅳ ('59) 黒田庄~23/Ⅶ ('61) 西脇
4. *Rhodoneura hyphaema* WEST ヒメマダラマドガ  
次の1頭だけである。  
17/Ⅴ ('61) 中畑
5. *Rhodoneura pallida* BUTLER ウスマダラマドガ  
山地・平地で得られているが、多くない。  
10/Ⅴ ('61) 三国岳~1/Ⅸ ('61) 黒田庄
6. *Rhodoneura sugitanii* MATSUMURA  
スギタニマドガ  
1頭採れただけである。稀少種。(写真)

- 1♂ 6—Ⅶ—1961 西脇(猪股)  
 7. *Herdonia osacesalis osacesalis* WALKER  
 モリヤママドガ  
 稀少種とされているが、当地方ではそれほど少ないものではない。サルスベリのほか、ザクロにも喰入するのではないと思われる。(写真)  
 1♀ 14—Ⅵ—1959 黒田庄(森川昭賢)  
 1♂ 23—Ⅵ—1959 " ( " )  
 1♂ 29—Ⅵ—1961 西脇(猪股)  
 1♀ 2—Ⅶ—1960 黒田庄(岡本)  
 なお、高砂市米田町(2—Ⅶ—1961)でも1♀が採れている。

### Pyalididae メイガ科

#### Galleriinae ツヅリガ亜科

1. *Aphomia gularis* ZELLER ツヅリガ  
 採集場所が貯穀類の少ない学校であるためか、採集個体数は意外に少ない。  
 12/Ⅵ('60) 西脇~6/ⅤⅢ('61) 西脇  
 2. *Lamoria ruficostella* RAGONOT アカフツヅリガ  
 平地で得られ、7月上旬に最も多い。  
 30/Ⅵ('61) 黒田庄~20/Ⅶ('60) 西脇  
 3. ©*Melissoblaptis zelleri* De JOANNIS  
 オオツヅリガ

平地に少なくない。

- 7/Ⅶ('61) 西脇~21/Ⅶ('61) 黒田庄  
 Crambinae ツトガ亜科

1. *Crambus diplogrammus* ZELLER  
 ウスグロスジツトガ  
 山地に産し、三国岳では少なくない。  
 23/Ⅵ('61) 三国岳~17/ⅤⅢ('60) 三国岳  
 2. *Crambus argyrophorus* BUTLER シロスジツトガ  
 平地で得られ、9月には特に多い。  
 16/Ⅵ('61) 黒田庄~22/Ⅸ('60) 西脇  
 3. ©*Crambus humidellus* ZELLER ギンスジツトガ  
 「7~8月に北海道や中部山地に普通」とあるが、9月中旬に千ヶ峰の標高700m以上の草原に多産する。寒地性種。(写真)  
 3♂5♀ 18—Ⅸ—1960 千ヶ峰(猪股)  
 4. ©*Crambus perlellus* SCOPOLI ウスギンツトガ  
 採集個体は1頭だけであるが、千ヶ峰の中腹以上では少なくないものと思われる。  
 1♂ 16—Ⅶ—1961 千ヶ峰(猪股)  
 5. *Thisanotia*<sup>15)</sup> *lucellus* HERRICH-SCHAEFFER

#### ウスグロツトガ

山地・平地に多いが、西脇では未採集である。局地的分布。

- 12/Ⅵ('61) 黒田庄~26/Ⅵ('61) 三国岳  
 6. *Flavocrambus striatellus* LEECH クロスジツトガ  
 山地には少なくないが、平地では極めて稀。  
 16/Ⅶ('61) 千ヶ峰~12/Ⅸ('61) 西脇  
 7. *Catoptria porcellanella* MOTSCHULSKY  
 ナカモンツトガ  
*atrosignatus* ZEDLER クロマダラツトガは、本種の個体変異<sup>2)</sup>として、この中に含まれた。平地で得られるが余り多くない。「平地では5~6月」とあるが、7月及び9~10月にも採れている。年3化であろう。  
 20/Ⅴ('61) 黒田庄~11/Ⅹ('60) 黒田庄  
 [28/Ⅶ('61) 黒田庄, 30/Ⅶ('61) 黒田庄]  
 8. *Catoptria distinctella* LEECH

#### クロテンシロ(テンスジ)ツトガ

「山地に普通」とあるが、2頭しか採れていない。「5~8月」とあるが、9月にも採れている。少ない種と思われる。  
 5/Ⅶ('61) 中町~11/Ⅸ('61) 黒田庄

9. *Calamotropha virgatella* WILEMAN

#### アトキマエジロ(ナカグロ)ツトガ

岡野氏によると<sup>10)</sup>、本種は *Crambus* に入れるのが正しいとのことであるが、一応、図鑑通りにしておく。平地・低山地に少なくないが、西脇では未採集。「4~5月、7月、9月」とあるが、8月にも採れている。局地的分布。

- 30/Ⅵ('60) 黒田庄~13/Ⅸ('60) 黒田庄  
 [17/ⅤⅢ('61) 中畑]

10. ©*Calamotropha purella* LEECH シロツトガ

次の1頭だけである。5/Ⅸ('61) 西脇

11. *Calamotropha nigripunctella* LEECH

#### キスジツトガ

稀少種である。「6~8月」とあるが、この個体は9月に採れている。(写真)

- 1♀ 8—Ⅸ—1960 西脇(猪股)

12. ©*Calamotropha flaviguttella* WILEMAN et SOUTH

#### タイワンキボシツトガ

稀少種。三国岳登山道の沢沿いで、同日に4頭を得た。同地では少なくないものと思われる。(写真)

- 2♂2♀ 10—Ⅷ—1961 三国岳(岡本)

13. *Calamotropha inclaralis* WALKER

#### キマエ(マエキ)ツトガ

平地で得られ、7月上旬に特に多い。

- 20/Ⅵ('59) 西脇~26/Ⅶ('60) 黒田庄

14. *Calamotropha obliterans* WALKER

#### サツマツトガ

平地で得られるが多くない。

- 26/VI ('61) 黒田庄~2/IX ('60) 西脇
15. ©Calamotropha yamanakai INOUE  
フタオレットトガ  
本種は、富山県と静岡県<sup>2)</sup>にのみ知られた珍種である。下記の1頭が採れた。(写真)  
1♀ 14—VIII—1961 三国岳(猪股)
16. Argyria interruptella WALKER  
ホソスジツトガ  
各地に普通で、6月と8月に最も多い。「5~8月」とあるが9月にも採れている。  
12/IV ('61) 黒田庄~8/IX ('60) 西脇
17. ©Diptychophora japonica INOUE  
シロエグリツトガ  
平地に少なくない。「5~8月」とあるが、9月に最も多く採れている。  
30/VI ('59) 黒田庄~23/IX ('60) 西脇
18. Chilo suppressalis WALKER ニカメイガ  
4月下旬にも多数採れており、これらは極めて大型である。  
23/IV ('60) 黒田庄~8/IX ('60) 西脇
19. Anchylolomia japonica ZELLER ツトガ  
平地・山地に多産する。  
29/VI ('61) 西脇~24/IX ('60) 西脇  
Schoenobiinae オオメイガ亜科
1. ©Acropentias aureus BUTLER  
クロスジキオオメイガ  
山地に産するが少なくない。「6~7月」とあるが、8月にも採れている。稀少種。(写真)  
1♀ 23—VI—1961 三国岳(猪股)  
1♂ 13—VIII—1961 千ヶ峰(岡本)
2. Patissa fulvosparsa BUTLER キボンオオメイガ  
黒田庄で採れているが多くない。局地的分布。  
12/VI ('61) 黒田庄~26/VI ('61) 黒田庄
3. ©Scirpophaga praelata SCOPOLI  
ムモンシロオオメイガ  
平地で得られるが多くない。「6~8月」とあるが、9月にも採れている。  
13/VII ('61) 黒田庄~13/IX ('60) 黒田庄
4. ©Scirpophaga parvallis WILEMAN  
(六浦博士同定) マエウスグロオオメイガ  
多くない種で、黒田庄で採れている。局地的分布。  
20/VI ('61) 黒田庄~27/IX ('60) 黒田庄
5. ©Schoenobius lineotus BUTLER  
ヒトスジオオメイガ  
平地で得られるが多くない。  
4/VII ('61) 西脇~26/VI ('60) 黒田庄

- Anerastiinae ホソメイガ亜科
1. Emmalocera bifidella WILEMAN  
オオマエジロホソメイガ  
山地・平地で得られるが西脇では未採集。余り多くはない。局地的分布。  
7/VII ('61) 黒田庄~17/VIII ('60) 三国岳
2. Emmalocera sp. (六浦博士同定)  
開張22~19mm。前翅前縁の淡色帯は前種より顕著。前翅後半部は灰白の地色の上に、翅脈に沿った黒褐色細帯が多数走る。前種のような黒点列はない。前翅後縁から中央にかけてやや赤味を帯びる。平地・低山地で得られるが少ない。  
6/VI ('61) 黒田庄~21/VIII ('61) 中畑
3. Anerastia sp. (六浦博士同定)  
開張21~20mm。前翅は帯赤褐色。前縁の淡色帯もやや赤味を帯びる。後翅は淡黄灰色。縁毛の色は翅の地色と同じ。平地・低山地で得られるが稀である。  
21/VIII ('61) 中畑~2/IX ('60) 西脇
- Phycitinae マダラメイガ亜科
1. Plodia interpunctella HÜBNER  
ノシマダラメイガ  
次種と共に世界的な貯穀害虫であるが、採集場所が学校なので採集個体は少ない。  
28/VI ('60) 西脇~22/IX ('60) 黒田庄
2. Ephestia cautella WALKER スジマダラメイガ  
29/VII ('61) 西脇~3/IX ('61) 黒田庄
3. ©Homoeosoma subcretaciella RAGONOT  
マエジロホソマダラメイガ  
各地に産し、少なくない。  
13/VIII ('61) 千ヶ峰~19/IX ('61) 西脇
4. Homoeosoma sp. (六浦博士同定)  
〔トビスジマダラメイガ近似種〕  
黒田庄で採れている。局地的分布。  
1/X ('60) 黒田庄~5/X ('60) 黒田庄
5. ©Nyctegretis triangulella RAGONOT  
サンカクマダラメイガ  
少ない種で、平地・低山地で得られるが、黒田庄では未採集。局地的分布。  
17/VIII ('61) 中畑~19/IX ('60) 西脇
6. ©Euzophera bigella ZELLER  
フタモンマダラメイガ  
平地・低山地で得られるが黒田庄では未採集。「5月」とあるが、これらは8~9月に採れている。年2化(または以上)であろう。局地的分布。  
21/VIII ('61) 中畑~12/IX ('60) 西脇
7. ©Sandrabatis crassiella RAGONOT

ハラウスキマダラメイガ

次の1頭だけである。21/VIII(61)中畑

8. *Nephoteryx bicolora* LEECH

ナン(ナカ)アカスジマダラメイガ

平地で得られ、黒田庄では普通である。

14/VII(59)黒田庄~1/VII(61)西脇

9. *Nephoteryx intercisella* WILEMAN

ヤマトマダラメイガ

黒田庄で採れている。余り多くない。局地的分布。

6/VII(61)黒田庄~26/VII(60)黒田庄

10. *Nephoteryx mikadella* RAGONOT

ミカドマダラメイガ

平地に多産する

26/VII(61)黒田庄~20/IX(60)西脇

11. *Nephoteryx semirubella* SCOPOLI

アカマダラメイガ

平地に多いが、山地にも産する。

26/VII(61)黒田庄~12/IX(60)西脇

12. *Nephoteryx* sp.

翅の色彩・斑紋などは20の*E. dichromela*に酷似しているが、翅の色調は本種の方がやや黒つばい。前翅の内横線は、*E. d.*では前縁から外方に彎曲しながら後縁に達しているのに対し、本種では殆ど彎曲することなく、中央部で一旦切断される傾向が強い。2個の黒点を結ぶ延長は、*E. d.*では内方に向かい、本種では外方に向かう。平地・低山地に多産する。

12/VII(61)黒田庄~5/IX(61)黒田庄

13. *Nephoteryx* sp.

本種も20の*E. dichromela*に酷似する種であるが、翅の色調は前種より明るく、いっそう*E. d.*に近い。翅形は*E. d.*及び前種より巾広く、該2種の亜外縁線は屈曲が甚だしいのに対して本種では殆ど直線状。前翅の2黒点の位置は、該2種では亜外縁線と内横線との中央よりも亜外縁線に近いのに対して、本種では内横線に近い。本種と前種は、触角や下唇鬚の形態からみて、*Eurhodope*より*Nephoteryx*に入れるのが妥当であると考え、そのように扱った。次の1頭が採られただけである。

16/VIII(61)西脇

14. *Dioryctria splendidella* HERRICH-SCHÄFFER

マツノシン(マツノオオ)マダラメイガ

平地に多産するが、山地でも得られている。

26/V(60)黒田庄~12/IX(60)西脇

15. ©*Dioryctria abietella* DENIS et SCHIFFERMÜLLER

マラノマダラメイガ

北海道・本州中部山地に産する寒地性種であるが、下記の1頭が採れた。関西では稀なものであろう。「6~

7月」とあるが、この個体は5月に採れている。(写真)

1 ex. 16-V-1960 黒田庄(岡本)

16. *Calguia defiguralis* WALKER

ウスアカマダラメイガ

「普通」とあるが、次の1頭しか採れていない。

28/VII(61)黒田庄

17. ©*Acrobasis ferruginella* WILEMAN

アカフマダラメイガ

各地に産するが少なく、西脇では未採集。局地的分布。

10/VIII(61)三国岳~18/VIII(61)黒田庄

18. ©*Acroaasis bellulella* RAGONOT

ナンモンクロマダラメイガ

平地で得られるが少ない。「5~8月」とあるが、9月にも採れている。

14/VII(61)黒田庄~12/IX(60)西脇

19. *Acrobasis* sp. [ツツマダラメイガ近似種]

*tokiella*に近いが、前翅の内横線の内外に赤褐色部がある。低山地・山地に産するが少ない。

14/VIII(61)三国岳~17/VIII(61)中畑

20. ©*Eurhodope dichromella* RAGONOT

フタグロマダラメイガ

各地に産し少なくない。

6/VII(61)西脇~7/IX(61)西脇

21. ©*Samaria ardentella* RAGONOT

トビマダラメイガ

次の1頭だけである。

7/IX(60)西脇

22. ©*Isauria paupercullella* WILEMAN

ニッコウマダラメイガ

下記の1頭だけである。「6~8月」とあるが、この個体は9月に採れている。

21/IX(60)西脇

23. *Etiella zinckenella* TRETTSCHKE

シロイチモンジマダラメイガ

平地で得られ少くないが、採集例はすべて9月である。幼虫はダイズその他、エンドウも食害するが、エンドウの被害はダイズよりずっと少ない<sup>13)</sup>こと、及び当地方は秋大豆の栽培地帯であることなどから、第1~第3化は少なく第4化の発生が多いものと考えられる。

3/IX(60)西脇~23/IX(59)黒田庄

*Epipaschiinae* フトメイガ亜科

1. ©*Anartula melanophia* STAUDINGER

ツマドロフトメイガ

低山地に多く、平地でも得られる。

- 14/VI ('61) 黒田庄~3/IX ('60) 西脇
2. *Lepidogma melanobasis* HAMPSON  
コネアオフトメイガ  
平地特に黒田庄に多い。「7~8月」とあるが、6月にも採れている。  
18/VI ('61) 西脇~26/VII ('60) 黒田庄
3. ◎*Macalla inimica* BUTLER  
ソトベニフトメイガ  
「少ない」とあるが、黒田庄に多産する。「8月」とあるが、7月と10月にも採れている。局地的分布。  
6/VIII ('61) 黒田庄~5/X ('60) 黒田庄
4. *Macalla amica* BUTLER オオフトメイガ  
平地に多く、低山地でも得られている。  
17/VI ('60) 黒田庄~21/VIII ('61) 中畑
5. *Macalla elegans* BUTLER ナカアオフトメイガ  
平地に多い。  
5/VI ('61) 黒田庄~19/VIII ('61) 西脇
6. ◎*Teliphasa nigrescens* WARREN (六浦博士同定)  
クロフトメイガ  
同属の上記2種が*Macalla*として扱われているので、本目録の分類基準によれば本種も同じ扱いを受けるべきものと思われるが、一応同定通りしておく。次の1頭だけである。  
14/VI ('59) 黒田庄
7. *Locastra muscosalis* WALKER  
トサカフトメイガ  
「多くない」とあるが、平地特に西脇には多い。  
30/VI ('61) 西脇~17/VIII ('61) 中畑
8. *Craneophora ficki* CHRISTOPH  
ナカムラサキフトメイガ  
各地に最も普通。「6~8月」とあるが、5月及び9月にも採れている。  
16/V ('60) 黒田庄~16/IX ('60) 西脇
9. *Stericta olivacea* WARREN  
各地に産するが、余り多くない。「6~8月」とあるが、9月にも採れている。  
29/VI ('61) 黒田庄~12/IX ('60) 西脇
10. *Pannucha achatina* BUTLER  
ナカトビフトメイガ  
平地に普通である。  
24/VI ('60) 黒田庄~16/VIII ('61) 西脇
11. *Orthaga euadrusalis* WALKER  
クロモンフトメイガ  
平地・低山地で得られ、西脇ではかなり多いが黒田庄では未採集。「7~8月」とあるが、6月及び9月にも採れている。年2化であろう。局地的分布。

- 30/VI ('61) 西脇~8/IX ('60) 西脇
12. ◎*Orthaga onerata* BUTLER ネアオフトメイガ  
平地に多い。「7月」とあるが、6月にも採れている。  
19/VI ('61) 西脇~26/VII ('60) 黒田庄  
Endotrichinae トガリメイガ亜科
1. ◎*Endotricha theonalis* WALKER  
カバイロトガリメイガ  
西脇で採れており、かなり多い。「5~6月」とあるが、採集例はすべて8~9月である。年2化(または以上)と思われる。局地的分布。  
16/VIII ('61) 西脇~22/IX ('60) 西脇
2. *Endotricha hypogrammalis* HAMPSON  
ムモンホソバトガリメイガ  
黒田庄に採れているが多くない。局地的分布。  
12/VI ('61) 黒田庄~28/VI ('61) 黒田庄
3. *Endotricha portialis* WALKER  
ホソバ(キベリ)トガリメイガ  
「最普通種」とあるが、次の1頭しか採れていない  
26/VI ('61) 黒田庄
4. *Endotricha consocia* BUTLER  
ヘリグロ(ウスオビ)トガリメイガ  
山地・平地で得られるが少ない。  
15/VIII ('61) 西脇~17/VIII ('60) 三国岳
5. *Endotricha icelusalis* WALKER  
オオウスベニトガリメイガ  
各地に多産する。  
12/VI ('61) 黒田庄~14/IX ('60) 黒田庄
6. ◎*Endotricha offinalis* HERING  
(六浦博士同定)  
翅の色は赤褐、縁毛は白色、横線は明瞭でない。本種の後翅は極めて大きいので、同属他種との区別は容易である。西脇で採れているが少ない。年2化であろう。局地的分布。  
1♂ 8—VI—1961 西脇(猪股)  
1♂ 7—IX—1961 " ( " )  
1♂ 22—IX—1960 " ( " )
7. ◎*Trichophysetis cretacea* BUTLER  
フタオビトガリメイガ  
西脇で採れているが少ない。局地的分布。  
19/IX ('60) 西脇~22/IX ('60) 西脇  
Pyralidinae シマメイガ亜科
1. *Aglossa dimidiata* HAWORTH  
コメノシマメイガ  
採集場所が何れも貯穀類の少ない所なので採集個体は多くない。  
12/VI ('61) 黒田庄~4/VII ('61) 西脇

2. *Hypsopygia regina* BUTLER

トビロシマメイガ

各地に普通。「6~9月」とあるが、10月にも採れている。

12/Ⅶ('61) 黒田庄~5/Ⅹ('60) 黒田庄

3. *Pyralis farinalis* LINNE カシノシマメイガ

A. dimidiataと同じ理由で採集個体は多くない。

16/Ⅷ('61) 西脇~14/Ⅹ('60) 西脇

4. ◎*Pyralis albiguttata* WARREN

スズキ(シロモン)シマメイガ

三国岳で採れているが少ない。

14/Ⅷ('61) 三国岳~17/Ⅷ('60) 三国岳

5. *Pyralis regalis* DENIS et SCHIFFERMÜLLER

ギンモンシマメイガ

黒田庄で採れているが多くない。「7~8月」とあるが、6月にも採れている。局地的分布。

21/Ⅶ('61) 黒田庄~20/Ⅷ('61) 黒田庄

6. ◎*Stemmatophora valida* BUTLER

トビロフタスジシマメイガ

平地で得られるが少ない。

30/Ⅶ('61) 黒田庄~20/Ⅶ('61) 西脇

7. *Tamraca torridalis* LEDERER

ナカアカシマメイガ

平地で得られ、黒田庄では普通。

7/Ⅷ('61) 西脇~22/Ⅶ('60) 黒田庄

8. *Fujimacia bicoloralis* LEECH

コフタスジ(マエモン)シマメイガ

平地・山地で得られ、黒田庄には多い。

4/Ⅶ('61) 黒田庄~10/Ⅷ('61) 三国岳

9. ◎*Herculia nanalis* WILMAN

ヒメアカ(コ)シマメイガ

各地に産し、平地では普通。

13/Ⅶ('61) 黒田庄~30/Ⅹ('60) 黒田庄

10. *Herculia glaucinalis* LINNÉ

フタスジシマメイガ

平地に多産し、低山地でも得られる。

14/Ⅶ('61) 黒田庄~28/Ⅹ('60) 黒田庄

11. ◎*Herculia nannodes* BUTLER

ツマアカシマメイガ

平地で得られ、西脇では普通。「6月・8月」とあるが、7月及び9月にも採れている。

9/Ⅶ('59) 西脇~13/Ⅹ('60) 西脇

12. ◎*Herculia repetita* BUTLER

クロスジキシマメイガ

本種はnannodesの個体変異<sup>2)</sup>かも知れない。次の1頭だけである。

8/Ⅹ('60) 西脇

13. ◎*Herculia placens* BUTLER ツマキシマメイガ

黒田庄で採れているが少ない。局地的分布。

1/Ⅶ('61) 黒田庄~10/Ⅶ('61) 黒田庄

14. *Herculia pelasgalis* WALKER

アカシマメイガ

平地に多いが、低山地でも得られている。

3/Ⅶ('60) 黒田庄~17/Ⅷ('61) 中畑

15. ◎*Herculia orthogramma* INOUE

オオバシマメイガ

本種は、井上寛氏が1960年に新種記載<sup>5)</sup>した種で、特に大型(前翅長♂15~16mm ♀18mm)なので同属他種との区別は容易である。既知産地<sup>9)</sup>は<sup>12)</sup>、新潟県(4♂4♀;1958)・富山市(1♀;1959)・大分県(1♂;1952)・熊本県(2♀1ex.;1959)である。下記の1頭が採れた。珍種。(写真)

1♀ 29-Ⅹ-1960 黒田庄(岡本)

16. *Herculia* sp. (六浦博士同定)

開張23mm。前翅の色調は19の*B. indicator*に近いが、両横線にはさまれた部分は該種ほど淡色にならない。横線の形も該種によく似ているが、中脈紋は殆ど見えない。後翅の色調は10の*H. glaucinalis*に近い。下記の1頭が採れた。

1♀ 27-Ⅶ-1961 黒田庄(岡本)

17. *Sybriba approximans* LEECH

クシヒゲシマメイガ

黒田庄で採れており少なくない。局地的分布。

11/Ⅶ('61) 黒田庄~18/Ⅶ('60) 黒田庄

18. *Sybriba fasciata* BUTLER

オオクシヒゲシマメイガ

各地に産し、黒田庄では普通であるが西脇では未採集。局地的分布。採集品の中に2頭の*S. misakiensis* SMIRUYA ミサキクシヒゲシマメイガと思われる個体があるが、はっきりしないので一応本種に含ませておく。

26/Ⅶ('61) 黒田庄~14/Ⅷ('61) 三国岳

19. *Bostra indicator* WALKER

ツマグロシマメイガ

平地で得られるが多くない。

8/Ⅶ('60) 黒田庄~21/Ⅶ('61) 西脇

Pyraustinae ノメイガ亜科

1. *Nymphula interruptalis* W. PRYER

マダラミズメイガ

平地・低山地で得られ、黒田庄では普通であるが西脇では未採集。「5~9月」とあるが、10月にも採れている。局地的分布。

29/V('59) 黒田庄~10/Ⅹ('58) 黒田庄



2. *Nymphula fengwhanalisis* W. PRYER  
ネジロミズメイガ  
平地で得られるが、西脇以外では少ない。  
2/IX ('60) 西脇~19/IX ('61) 西脇
3. *Nymphula turbata* BUTLER  
ヒメマダラミズメイガ  
平地に多産し、9月には特に多い。本種には、淡色小型で前翅の短かい型があるが、ひよっとするとこれは異種かも知れない。今後詳しく調べてみたい。  
6/VII ('61) 黒田庄~10/X ('58) 黒田庄
4. *Nymphula vittalis* BREMER イネコミズメイガ  
平地・低山地で得られるが余り多くない。  
16/VIII ('61) 黒田庄~20/IX ('60) 西脇
5. *Nymphula fluctuosalis* ZELLER イネミズメイガ  
下記の1頭しか採れていない。暖地性の種で、当地方では少ないものと思われる。  
19/VIII ('61) 西脇市鹿野
6. *Cataclysta blandialis* WALKER  
アトモンミズメイガ  
平地で得られる。6月下旬~7月上旬には相当に多い。  
29/VI ('61) 西脇~11/VII ('61) 黒田庄
7. *Cataclysta midas* BUTLER キオビミズメイガ  
「余り多くない」とあるが、各地に音通で特に山際の小溝のあたりには多産する。「6~8月」とあるが、5月と9月にも採れる。  
28/V ('59) 西脇~17/IX ('60) 黒田庄
8. © *Sufotula rectifascialis* HAMPSON  
(六浦博士同定)  
下記の1頭だけである。  
1♂ 14-VIII-1961 三国岳(猪股)
9. *Mesographe forficalis* LINNÉ ナノメイガ  
平地で得られるが、採集場所の関係が採集個体は余り多くない。  
30/IV ('59) 西脇~22/IX ('60) 西脇
10. *Lophopalpiapauperalis* LEECH  
トビモンフタスジノメイガ  
三国岳で1頭採れただけである。多いものではないらしい。  
10/VIII ('61) 三国岳
11. *Pelena sericea* BUTLER モンキノメイガ  
山本義丸氏が兵庫県水上郡柏原<sup>2)</sup>で記録された以外は、本州では余り産地が知られていない珍種である。  
下記の1頭が採れている。(写真)  
1ex. 23-VI-1961 三国岳(猪股)
12. *Bradina admixtalis* WALKER  
ウスグロノメイガ  
各地に産し、平地では9月に特に多い。  
4/VII ('61) 西脇~22/IX ('60) 西脇
13. *piletocera sodalis* LEECH  
シロモン(コガタシロモン) クロノメイガ  
三国岳には少なくないが、他では未採集。  
10/VIII ('61) 三国岳~17/VIII ('60) 三国岳
14. *Diathrausta brevifascialis* WILEMAN  
シロテンノメイガ  
下記の1頭を昼間採集で得ただけである。  
18/IX ('60) 千ヶ峰
15. © *Diploseustis perieresalis* WALKER  
エグリノメイガ  
山地に産するが少ない。  
10/VIII ('61) 三国岳~13/VIII ('61) 千ヶ峰
16. © *Puriella rufoterminalis* CHRISTOPH  
トビモンシロノメイガ  
平地・山地で得られるが黒田庄では未採集。局地的分布。  
5/VIII ('60) 笠形山~23/IX ('60) 西脇
17. © *Perinephela lancealis* DENIS et SCHIFFERMÜLLER  
キイロノメイガ  
「各地に多い」とあるが、下記の1頭を昼間採集で得ただけである。個体数が少ないか灯火に集まり難いかどちらかであろう。  
22/V ('61) 住吉
18. *Mabra charonialis* WALKER ミツテンノメイガ  
各地に産し、三国岳には多いが、黒田庄では未採集。局地的分布。  
1/VII ('61) 西脇~22/IX ('60) 西脇
19. *Pycnarmon lactiferalis* WALKER  
ゴマダラノメイガ  
山地・低山地に産するが、三国岳以外では少ない。  
23/VI ('61) 三国岳~17/VIII ('61) 中畑
20. *Pycnarmon pantherata* BUTLER  
クロオビノメイガ  
平地・低山地で得られ、かなり多い。  
13/VI ('60) 黒田庄~17/VIII ('61) 中畑
21. *Hymenia recurvalis* FABRICIUS  
シロオビノメイガ  
平地・低山地で得られ、9月には特に多産。  
11/VIII ('61) 西脇~5/X ('60) 黒田庄
22. *Eurrhyarodes accessalis* WALKER  
アヤナミノメイガ  
各地に多産し、9月には特に多い。  
14/VII ('61) 西脇~21/IX ('59) 黒田庄
23. *Agrotera nemoralis* SCOPOLI  
ウスムラ(ウスムラサキ) ノメイガ

各地に普通。「5～6月、7～8月」とあるが、9月にも採れている。

6/VI ('61) 黒田庄～12/IX ('60) 西脇

24. ©Pagyda arbiter BUTLER フタマタノメイガ  
平地で得られるが極めて少ない。

6/IX ('60) 西脇～17/IX ('60) 黒田庄

25. Pagyda quinquelineata HERING

ヨスジ (マタスジ) ノメイガ

昼間はよく見かけるが、灯火に飛来するものは少ない。  
平地・低山地で得られる。

23/V ('61) 住吉～2/IX ('60) 西脇

26. Pagyda quadrilineata BUTLER

ホノヨスジ (ヨスジ) ノメイガ

昼間採集で1頭採れた。「5～9月」とあるが、これは10月である。

13/X ('61) 市原

27. Susumia exigua BUTLER

タテハマキ (イネハカジ) ノメイガ

平地・低山地で得られ、中畑には多い。

6/VI ('61) 黒田庄～17/VIII ('61) 中畑

28. Cnaphalocrocis medinalis GUENÉE

コブノメイガ

平地で得られ、西脇では普通である。

2/IX ('60) 西脇～1/X ('59) 黒田庄

29. ©Marasmia venialis WALKER

ハカジモドキノメイガ

暖地性の種で、1頭が採れただけである。「5～8月」とあるが、これは9月に採れている。

19/IX ('61) 西脇

30. Bocchoris onychinalis GUENÉE

シロマダラノメイガ

平地・低山地で得られ、西脇には少なくないが、黒田庄未採集。「5～8月」とあるが、9月にも採れている。  
局地的分布。

1/VII ('61) 西脇～8/IX ('61) 西脇

31. ©Bocchoris aptalis kwanglungialis CARADJA

(六浦博士同定) [ナカキノメイガ]

本種は本州では珍しいものらしく、異亜種 *usitata* は高尾山・富山県呉羽山で採れている<sup>2)</sup> が、本亜種については不明である。和名は *usitata* に対してつけられたものであるが、亜種の扱いについては筆者には見当がつかかねるので、一応、本亜種にもこの和名を当てておいた。昼間採集で1頭を得た。(写真)

1 2 11-VIII-1961 三国岳 (猪股)

32. Bocchoris inspersalis ZELLER

シロモンノメイガ

山地にも産するが、平地にも多産し、特に9月には灯火に多数飛来する。昼行性もあって、花で吸蜜しているのがよく見かけられた。「5～6月、7～9月」とあるが、10月にも採れている。

18/VI ('61) 笠形山～11/X ('59) 黒田庄

33. Nosophora semitritalis LEDERER

シロヒトモンノメイガ

平地・低山地で得られるが少ない。

17/VIII ('61) 中畑～18/VIII ('61) 黒田庄

34. Tyspanodes striata striata BUTLER

クロスジノメイガ

山地の沢のあたりに多いが、平地では稀。

12/VI ('60) 笠形山～23/IX ('59) 三国岳

35. Dichocrocis punctiferalis GUENÉE

モモノゴマダラ (モモ) ノメイガ

平地・低山地に普通である。

29/V ('59) 西脇～21/VIII ('61) 中畑

36. Dichocrocis chlorophanta BUTLER

ホソミスジノメイガ

各地に産し、中畑には特に多い。

12/VI ('61) 黒田庄～17/VIII ('61) 中畑

37. Hedylepta noctescens MOORE

キバラノメイガ

「普通種」とあるが、少ない。平地・低山地で得られるが西脇では未採集。局地的分布。

1/VI ('59) 黒田庄～21/VIII ('61) 中畑

38. ©Hedylepta indistincta WARREN

オオミスジノメイガ

三国岳で採れている。

10/VIII ('61) 三国岳～17/VIII ('60) 三国岳

39. ©Hedylepta similis MOORE

クロミスジノメイガ

平地・山地で得られるが多くない。「7～8月」とあるが、9月にも採れている。

4/VIII ('60) 笠形山～13/IX ('60) 西脇

40. Hedylepta misera BUTLER

ヒメクロミスジノメイガ

各地に普通である。

12/VI ('61) 黒田庄～24/IX ('60) 西脇

41. Hedylepta indicata FABRICIUS

ミスジ (マエウスキ) ノメイガ

平地で得られ、黒田庄では少なくない。「7～10月」とあるが、11月にも採れている。

17/X ('60) 黒田庄～22/XI ('60) 黒田庄

42. Hedylepta sp. (六浦博士同定)

大きさは *H. misera* とほぼ同じ。翅も体部も殆ど黒色

で紫色の光沢を帯びる。前翅外横線の前半は、*misera* が外方に彎曲して弧を描いているのに対し、本種では直線状むしろ内方にわずかに彎入している。後翅縁毛の外半は、*misera* では白色に近いが、本種では殆ど翅の地色と変わらない。三国岳麓の小溝に多産する。

23/Ⅶ ('61) 三国岳～14/Ⅷ ('61) 三国岳

43. *Hedylepta* sp. (六浦博士同定)

翅形や色彩は一見 *Notarcha lophoralis* に似ているが、後翅の横線は明らかに異なり、むしろ *Herpetogramma rudis* に近い。平地・低山地で得られるが少なく、西脇では未採集。局地的分布。

17/Ⅷ ('61) 中畑～19/Ⅸ ('61) 黒田庄

44. *Nacoleia commixta* BUTLER シロテンキノメイガ  
各地に産し、西脇では普通である。

30/Ⅴ ('61) 黒田庄～22/Ⅸ ('60) 西脇

45. ◎ *Nacoleia satsumalis* SOUTH サツマキノメイガ  
「普通」とあるが、昼間採集で次の1頭を得ただけである。

16/Ⅶ ('61) 千ヶ峰

46. ◎ *Nacoleia tampiusalis* WALKER

ネモンノメイガ

一般に稀種として扱われているもので、山地で得られ三国岳ではかなり採れている。(写真)

1♂ 19-Ⅶ-1961 千ヶ峰(岡本)

2♂2♀ 10-Ⅷ-1961 三国岳(岡本)

47. ◎ *Nacoleia maculalis* SOUTH クロフキノメイガ  
下記の1頭だけである。「6～7月」とあるが、これは8月に採れている。

10/Ⅷ ('61) 三国岳

48. ◎ *Meta siaconiotalis* HAMPSON

ハイロホソバノメイガ

各地で得られ、黒田庄では普通であるが西脇では未採集。局地的分布。

4/Ⅶ ('61) 黒田庄～21/Ⅷ ('61) 中畑

49. *Goniorhynchus exemplaris* HAMPSON

オオクロヘリキ(クロズ)ノメイガ

各地に産するが、山地では特に多い。

12/Ⅵ ('61) 黒田庄～12/Ⅸ ('61) 黒田庄

50. *Goniorhynchus butyrosa* BUTLER

クロヘリキノメイガ

各地に普通で山地には多産する。山地では8月、平地では9月に多い。

29/Ⅴ ('61) 黒田庄～7/Ⅸ ('61) 西脇

51. *Syllepte tricolor* BUTLER

モンシロルリノメイガ

各地に産し、山地には多い。「6～8月」とあるが、

9月にも採れている。

1/Ⅶ ('61) 黒田庄～10/Ⅸ ('60) 西脇

52. *Syllepte luctuosalis zelleri* BREMER

モンキクロノメイガ

各地に多産する。

30/Ⅵ ('61) 西脇～24/Ⅸ ('60) 西脇

53. *Syllepte segnalis* LEECH モンシロクロノメイガ

山地・低山地に産するが少ない。

10/Ⅷ ('61) 三国岳～21/Ⅷ ('61) 中畑

54. *Syllepte deficiens* MOORE シロハラノメイガ

山地で普通に得られる。県内では水ノ山<sup>21)</sup>で記録されている。

12/Ⅵ ('60) 笠形山～17/Ⅷ ('60) 三国岳

55. *Syllepte maculalis* LEECH

フチグロキン(ハラナガキマダラ)ノメイガ

次の1頭だけである。

17/Ⅷ ('61) 西脇

56. *Syllepte fuscomarginalis* LEECH

クロヘリノメイガ

山地に産し、三国岳には特に多い。

17/Ⅶ ('60) 三国岳～17/Ⅷ ('60) 三国岳

57. ◎ *Syllepte (Syllepte) tristrialis* BREMER

クオアシクロノメイガ

本種は準拠図鑑<sup>2)</sup>に載っていないので引用図鑑<sup>1)</sup>の *Syllepte* を採用したが、同属の前種が前者では *Syllepte* となっているので、本種もその扱いに準じてここに配列した。三国岳で採れているが少ない。

14/Ⅷ ('61) 三国岳

58. *Syllepte inferior* HAMPSON コヨツメノメイガ

少ない種で、平地では得られない。

10/Ⅷ ('61) 三国岳～21/Ⅷ ('61) 中畑

59. *Syllepte derogata* FABRICIUS ワタノメイガ

食草のキリヤムクゲは少なくないのに、1頭しか採れていない。

11/Ⅷ ('61) 西脇

60. *Syllepte balteata* FABRICIUS

ヘリグロ(クロスジ)キノメイガ

平地・低山地で得られ、8月下旬～9月に特に多い。

16/Ⅴ ('60) 黒田庄～20/Ⅸ ('60) 西脇

61. *Syllepte ruralis* SCOEPOLI ウコンノメイガ

山地・平地で得られるが少ない。畑地を調査すればかなり採れると思う。

13/Ⅷ ('61) 千ヶ峰～17/Ⅷ ('60) 三国岳

62. ◎ *Syllepte invalidalis* SOUTH ツチイロノメイガ

山地・平地で得られるが少なく、

29/Ⅵ ('61) 西脇～10/Ⅷ ('61) 三国岳

63. *Palpita nigropunctalis* BREMER

マエアカスカシノメイガ

平地で得られ、9月には特に多い。「4～10月」とあるが、3月と12月にも採れている

5/Ⅲ ('59) 黒田庄～19/Ⅶ ('58) 黒田庄

64. *Palpita inusitata* BUTLER ヒメシロノメイガ

各地にかなり多い。「5～9月」とあるが、10～11月にも採れている。

22/V ('61) 住吉～5/Ⅺ ('60) 黒田庄

65. *Diaphania indica* SAUNDERS

ワタヘリクロノメイガ

平地で得られ、西脇では9月に多い。

8/Ⅸ ('60) 西脇～19/Ⅸ ('60) 西脇

66. *Glyphodes perspectalis* WALKER ツゲノメイガ  
暖地性種。次の1頭だけである。

5/Ⅶ ('61) 西脇

67. *Glyphodes quadrimaculalis* BREMER et GREY

ヨツホンノメイガ

各地に産するが少ない。「7～9月」とあるが、5月にも採れている。年2化であろう。

22/V ('61) 住吉～17/Ⅷ ('60) 三国岳

68. *Glyphodes pryeri* BUTLER スカシノメイガ

少ないものらしく1頭しか採れていない。

16/Ⅵ ('61) 黒田庄

69. *Glyphodes pyloalis* WALKER クワノメイガ

平地・山地で得られるが余り多くない。後翅外縁の暗色部が極めて巾広いほか数個所に相違のみられる個体があり、後日検討するつもりである。

14/Ⅷ ('61) 三国岳～8/Ⅸ ('60) 黒田庄

70. *Polythlipta liquidalis* LEECH

マダラシロオオ(ツマグロシロ)ノメイガ

平地・山地で得られ、黒田庄では少なくないが西脇では未採集。「5～10月」とあるが11月にも採れている。局地的分布。

23/V ('59) 黒田庄～6/Ⅺ ('59) 黒田庄

71. *Hellula undalis* FABRICIUS ハイマダラノメイガ

平地に普通で、低山地でも得られる。

21/Ⅷ ('61) 中畑～28/X ('60) 黒田庄

72. *Circobotys aurealis* LEECH

キベリハネホソノメイガ

平地で得られ、黒田庄では少なくない。

1/Ⅵ ('59) 黒田庄～30/Ⅵ ('61) 西脇

73. *Crocidophora evenoralis* WALKER

セスジノメイガ

食草のタケ類は少なくないのに、下記の2頭しか採れていない。当地方では少ない種であろう。局地的分布。

29/Ⅵ ('61) 西脇～30/Ⅵ ('61) 西脇

74. *Maruca testulalis* GEYER マメノメイガ

平地で得られ、特に黒田庄に多い。「8～10月」とあるが、7月にも採れている。

22/Ⅶ ('61) 黒田庄～17/X ('60) 黒田庄

75. *Nomophila noctuella* DENIS et SCHIFFERMÜLLER

ワモンノメイガ

平地で得られ、かなり多い。「5～6月、8～9月」とあるが、10月にも採れている。

12/Ⅳ ('60) 黒田庄～10/X ('60) 黒田庄

76. *Herpetogramma rudis* WARREN

マエキノメイガ

本種以下80までの種は、図鑑でPsara<sup>1)</sup>またはPachyzancla<sup>2)</sup>とされていたものであるが、最近、山中氏<sup>16)</sup>がHerpetogrammaとしてまとめられたので、それに従っておく。平地で普通に得られるが黒田庄では未採集。局地的分布。

2/Ⅸ ('60) 西脇～23/Ⅸ ('60) 西脇

77. *Herpetogramma* sp. (六浦博士同定)

〔マエキノメイガ近似種〕

開張18mm。前種に酷似しているがはるかに小型で、翅形も異なる。即ち、前翅外縁の約2/3はほぼ直線をなし、その延長が後縁の延長と交わる角度は90°よりもむしろ小さい。横線は前種より暗色ではっきりしており、横線の外側に沿う淡色部は前種より巾広い。前翅の内外両横線にかこまれた部分は明らかに淡色である。後翅外縁は黒灰色の細線でふちどられる。1頭採れただけである。

21/Ⅷ ('61) 中畑

78. ©*Herpetogramma jumboalis* YAMANAKA

本種は、1960年に山中氏によって新種記載<sup>16)</sup>されたもので、富山県美女平・東京都高尾山・青森県弘前の4♂1♀がタイプ標本となっている。おそらくその後は発表されていないと思われるので、本報が近畿地方の初記録となろう。低山地で得られるが少ない。

1♂1♀ 17-Ⅷ-1961 中畑(猪股)

79. *Herpetogramma* sp.

前種とよく似ているが、次の諸点で異なる。①翅の色は両種とも暗黒褐色であるが、前種が強い紫色光沢を帯びるのに対し、本種は殆ど光沢がない。②前種では外横線の外側に沿う淡色部があるが本種にはない。③前翅外横線全体の形は前種より彎曲が弱い。④横脈紋は中空でなく、かつその内方に淡色紋を有しない。1頭得ただけである。

10/Ⅷ ('61) 三国岳

80. ©*Herpetogramma licarsialis* WALKER

本種は、①外横線(特に後翅)が明らかに鋸歯状であ

る。②外縁にははっきりした点紋列がある。③♂の前翅前縁下面に飾毛がある。などの点で、同属他種と区別できる。本州では富山市<sup>16)</sup>で記録されているだけである。本報が近畿地方の初記録であろう。九州では佐田岬・福岡県浮羽郡で記録されている。

1 ♀ 17—Ⅺ—1960 黒田庄(岡本)

81. *Loxostege palealis* DENIS et SCHIFFERMÜLLER

ウラグロシロノメイガ

1頭しか採れていない。県内では、氷ノ山<sup>20)</sup>及び氷上郡<sup>19)</sup>で記録されている。

16/Ⅶ('61)千ヶ峰

82. *Diasemia litterata* SCOPOLI

シロアヤヒメノメイガ

平地・山地に多産する。

11/Ⅴ('60)西脇~23/Ⅸ('60)西脇

83. *Diasemia accalis* WALKER

キアヤヒメノメイガ

各地に多いが、前種よりやや少ないようである。この両種は翅形も斑紋もよく似ていて紛らわしいが、縁毛を見れば簡単に見分けられる。即ち、前種では、数本~10数本ずつ、白色縁毛と黒色縁毛とが交互にならぶから、全体を眺めると白黒のはっきりしたまだらができていなのに対して、本種では、各縁毛はそれぞれ2ヶ所に濃色部を有し、これらが一様に揃っているため、縁毛全体を眺めると、暗褐色の細い線が2本走っているように見える。

26/Ⅵ('61)黒田庄~17/Ⅸ('60)黒田庄

84. ©*Uresiphita prunipennis* BUTLER

ウスベニオオノメイガ

本種は、北海道では当別・大雪山、本州では横浜・吉野・高尾山だけしか記録<sup>2)</sup>のない珍種である。しかし、当地方では稀でなく、平地・低山地で下記の6頭が採れている。6・8~9月に採れているから、年2化であろう。(写真)

1 ♂ 16—Ⅵ—1961 黒田庄(岡本)

1 ♀ 21—Ⅷ—1961 中畑(猪股)

1 ♂ 12—Ⅸ—1961 西脇(猪股)

1 ♂ 2 ♀ 13—Ⅸ—1961 黒田庄(岡本)

85. *Hemiscopis cinerea* WARREN

ウスムラサキスジノメイガ

平地・山地で普通に得られる。8月に多い。

30/Ⅵ('61)黒田庄~21/Ⅸ('61)西脇

86. *Prodasychnemis inornata* BUTLER

キムジノメイガ

各地に多い。「5~6月・8~9月」とあるが、7月にも採れている。

8/Ⅴ('61)黒田庄~10/Ⅸ('60)黒田庄

(6/Ⅶ('61)西脇, 23/Ⅶ('60)西林寺)

87. *Nomis albobedalis* MOTSCHULSKY

ホシオビホソノメイガ

平地・低山地で普通に得られる。「平地では5~6月」とあるが、9月に最も多く、8月にも採れている。平地では年2化であろう。

2/Ⅴ('59)黒田庄~23/Ⅸ('60)西脇(21/Ⅷ('61)中畑)

88. *Phlyctaenia verbascalis* DENIS et SCHIFFERMÜLLER

ヒメトガリノメイガ

平地に普通である。

12/Ⅵ('61)黒田庄~24/Ⅸ('60)西脇

89. ©*Phlyctaenia auratalis* WARREN

ヘリジロキンノメイガ

山地に産するが余り多くない。

16/Ⅶ('61)千ヶ峰~10/Ⅷ('61)三国岳

90. *Pseudebulea fentoni* BUTLER

モンスカシキノガメ

山地に産するが少ない。「6~7月」とあるが、8月にも採れている。

16/Ⅶ('61)千ヶ峰~5/Ⅷ('60)笠形山

91. *Microstega jessica* BUTLER

ウスオビキノメイガ

山地・平地で得られ、山地では普通である。「5~8月」とあるが、4月及び9月にも採れている。

30/Ⅴ('59)西脇~21/Ⅸ('60)西脇

92. *Micractis varialis* BREMER フキノメイガ

各地に多産する。当地方特に平地にはフキが少ないので、おそらくアズキなどを食害しているものであろう。「5~9月」とあるが、4月にも採れている。

20/Ⅳ('59)西脇~17/Ⅸ('60)黒田庄

93. *Micractis nubilalis* HÜBNER アワノメイガ

平地で得られるが多くない。

8/Ⅴ('61)黒田庄~14/Ⅸ('60)黒田庄

94. *Micractis memnialis* WALKER

ベニモンキ(ユウグモ)ノメイガ

平地で得られるが、黒田庄では未採集。局地的分布。17/Ⅴ('61)市原~22/Ⅸ('60)西脇

95. *Udea testacea* BUTLER クロモンキノメイガ

平地・低山地で得られ、畑地に多産する。

4/Ⅴ('59)西脇~28/Ⅹ('60)黒田庄

96. ©*Udonomeiga vicinalis* SOUTH ウドノメイガ

平地・山地で得られ、三国岳には少なくない。「6~7月」とあるが、8~9月にも採れ、三国岳では8月に多い。

24/Ⅶ('61)黒田庄~12/Ⅸ('61)西脇

97. ©Pyrausta pervulgalis HAMPTON

トガリキノメイガ

本種は一見87の*N. albopedalis*及び91の*M. jessica*によく似ている。この3種の簡単な相違を次にあげておく。

①前翅外横線前半について

*M. j.* 鋸歯は極めて細かく、切れ込みも浅いから、個体によっては殆ど線状に見える。

*P. p.* 鋸歯は切れ込みが鋭どく、極めてはっきりしており、各個は殆ど均等である。

*N. a.* 第1鋸歯と第2鋸歯との間の内方への切れ込みが深いので、この部分がよく目立つ。他の鋸歯は一般に大きくて浅い。

②後翅外横線について

*M. j.* 外横線は前縁の基部から約 $\frac{2}{3}$ あたりから発する。外横線を3分してみると、はじめの $\frac{1}{3}$ は外縁に平行して進み、次の $\frac{1}{3}$ は凸出して外縁に近づき、最後の $\frac{1}{3}$ は再び内方に戻って、外縁に平行しつつ内縁に達する。

*P. p.* 外横線の出発点はほぼ前種と同じ。途中曲折があるが、全体の傾向としては、だんだんに外縁に近づきつつ内縁に至る。

*N. a.* 出発点は前2種より外方にあり、殆ど外縁に平行のまま内縁に達する。

③亜外縁線(後翅)について

*M. j.* 亜外縁線は紋列状で、ほぼ外縁に平行。

*P. p.* 亜外縁線はやや弱い。外横線と似た走りかたで外縁中央附近で消える場合が多い。

*N. a.* 亜外縁線は認められない。

④翅の色について

*M. j.* 淡黄で最も明るい。

*P. p.* 両者の中間の色調で半透明。

*N. a.* 黄褐色で秋生は一層暗い。

平地で得られかなり多い。

28/V ('59) 西脇~30/VI ('61) 西脇

98. *Pyrausta gracilis* BUTLER ウラジロキノメイガ  
黒田庄で採れているが少ない。局地的分布。

8/VIII ('61) 黒田庄~13/IX ('60) 黒田庄

99. *Pyrausta unipunctata* BUTLER

ヒトモンノメイガ

各地に産するが余り多くない。

29/VI ('61) 西脇~21/VIII ('61) 中畑

100. *Pyrausta* sp. (六浦博士同定)

全体としては、次種*limbata*を小型にした感じであるが、前翅前縁に1個・後翅中央よりやや前方に1個の白紋がある。開張約11mm。

1♀ 14-IX-1960 西脇(猪股)

101. ©*Pyrausta limbata* BUTLER トモンノメイガ

山地・平地で得られるが少ない。

18/VI ('61) 笠形山~18/IX ('60) 西脇

102. ©*Pyrausta sikkima* MOORE

キオビトビノメイガ

花に来ているのを採った。採集個体は2頭だけであるが、千ヶ峰では稀でない。

1♂1♀ 19-VII-1961 千ヶ峰(岡本)

103. ©*Pyraurta carminalis* CARADJA

ヘリアカキノメイガ

本種は従来支那から知られていただけであったが、近年、九州<sup>2)</sup>(福岡県彦山・熊本県)次いで四国<sup>14)</sup>(高知県1959)から記録された珍種である。本州では、おそらく本報が最初の記録になるだろうと思われる。前翅の地色は橙黄色で、前縁・外縁・斑紋が紅色の美しい小型種である。(写真)

1♀ 14-VIII-1961 三国岳(猪股)

1♀ 17-VIII-1960 三国岳(猪股)

104. *Pyrausta* sp. (六浦博士同定)

本種は*ochrealis* WILEMAN<sup>2)</sup>ではないかと思われる節もあるのだが、不確かなので種名不詳のままにしておく。開張25~37mm。翅は前後翅とも黄色(縁毛も)、横線は橙黄色、前翅横線の形は89の*Phlyctaenia aurata*に似ている。平地で得られかなり多い。

12/VII ('60) 黒田庄~22/IX ('60) 西脇

105. ©*Algedonia coclesalis* WALKER

タケノメイガ

黒田庄で採れているが少ない。局地的分布。

7/VII ('61) 黒田庄~10/VIII ('61) 黒田庄

106. *Cangetta* sp.

開張約13mm。翅の色は暗灰色で、前翅前縁(中央よりも外方)に大きな逆三角形の白色紋がある。横線は表面では殆ど見えないが、裏面でははっきりしている。

1♂ 14-VIII-1961 三国岳(猪股)

IV 参 考 文 献

- 1) 六 浦 見: 原色日本蛾類図鑑上, 93-149, pl. 17-26:1957.
- 2) 井 上 寛: 原色昆虫大図鑑 I, 232-257, pl. 165-173:1959.
- 3) 丸 毛 信 勝: 日本昆虫図鑑, 501-556:1950.
- 4) 加 藤 正 世: 分類原色日本昆虫図鑑12, pl. 35-46:1934.
- 5) 井 上 寛: Two new species of the Pyraustidae from Japan. 昆虫, 28(3), 170-171:1960.
- 6) 井 上 寛: One new genus and eleven new species of the Japanese Phycitinae (Py

(p.167より続く)

- ralididae).TINEA, 5(1), 293—301:1959.
- 7) 井上 寛: Two new species of Pyralidoidae from Japan. TINEA, 4(2), 257—258:1958.
- 8) 井上 寛: Three new synonyms of the Pyralididae. TINEA, 4(1), 233:1958.
- 9) 井上 寛: Four new species and one new subspecies of the Japanese Pyralidae. 蝶と蛾, VI(3), 20—22:1955.
- 10) 岡野 磨瑛郎: Notes on some Japanese Crambinae (Pyralididae). 蝶と蛾, VII(1), 8—11:1960.
- 11) 岡野 磨瑛郎: Three new species of the Japanese Crambinae (Pyralididae). TINEA, 4(2), 266:1958.
- 12) 田原 鳴雄: 熊本県産の蛾, 蛾類通信, 24, 90:1961.
- 13) 内藤 篤: シロイチモンジマダラメイガおよびマメシクイガの分布発生に関する研究(第4報). 昆虫, 29(1), 39—55:1961.
- 14) 中村 重久: 四国未記録の蛾類(II). 蛾類通信, 20, 28—29:1960
- 15) BLESZYŃSKI, S.: Studies on the Crambidae. Part X IV. (抄録), 蛾類通信, 11, 87—88:1957.
- 16) 山中 浩: On the known and unknown species of the Japanese Herpetogramma (Pyralididae). TINEA, 5(2), 321—327:1960.
- 17) 山中 浩: One new species and one unrecorded species of the Japanese Pyraustinae (Pyralididae). TINEA, 4(2), 226:1958.
- 18) 山本 義丸: 氷ノ山の蛾類について(補遺). 兵庫生物, 3(5), 388—384:1959.
- 19) 山本 義丸: 兵庫県氷上郡昆虫目録, 41—45:1958.
- 20) 山本 義丸: 氷ノ山の蛾類について(第三報). 兵庫生物, 3(4), 237—239:1958.
- 21) 山本 義丸: 氷ノ山の蛾類について(第二報). 兵庫生物, 3(3), 121—123:1956.